

# こぐまくらすたより

22.6.30.



クラス懇談会では、お忙しい中出席してく頂きありがとうございます。又スピーチにお父さんお母さん皆で話すことができ、子どもこと、子育てのことについて良い時間だな〜と改めて感じました。日々じり動かしながう大きくなろうと子ども達と「おもいっい」「楽しい」「またやろう」のあそびを楽しんでいきます。

## 7月の行事予定

- 1日(金) 園内夏まつり
- 2日(土) 夏まつり(こぎま以上親子)
- 4日(月) 遊卒難雑訓練
- 7日(木) 誕生会  
七夕まつり
- 21日(木) おやつ作り

## お知らせとお預り

◎ こぐまくらすになり初めての言詞整理活動が21日(木)にありまわ。「自分たちでできた」という実感を持てるよう、大人の支えとともに、手カビがある活動にしたいと考えています。エプロン・三角巾は、子どもが自分で着脱しやすい物をお預りします。

## 《子どもの育ちに学ぶ》

3歳児の「自我」の育ちに、「大人と同じくらい自分はすごい」といった「イチコロ」な姿が強く現れます。(しかし実際にはひとりでは難しいこともまだまだ多い)3歳児は、自分のできなさが竟言説される場面では、気持持ちが大きく崩れることがあります。自分の持っている力を発揮したいはずなのに、「イチコロ」な気持持ちが、しほんでしまい、大人の支えが必要な場面も多くあります。

そんな時、「かまぼこ」ことよりも、自然と子どもの気持持ちが動くような「しかけ」や「雰囲気」を工夫することが大切です。「しかけ」というのは、子どものそばで一緒に遊ぶことや、さりげなく準備をしておく、子どもの活動を止めず、やりたい事を保障し、安心感を作っていくということです。

大人が「そばで」説得しようとして、目立たない働きかけではなく、楽しんで見出すことができる環境や、安心感を感じられる大人の雰囲気づくりといったさりげない関わりが、子どもの「イチコロ」が発揮されるよう支える大切な基盤となります。

# おひんこの夏・こぐまの夏

おひんこで大切にしている水・砂・泥・プールあそび。五感を使って、水・砂・泥など「変化する素材をあそぶ」おもいっい、不思議さ、じり良さを感しながら、じり満足させたり、じり解放していく大切なあそびのひとつです。こうしてらどりなだらう「もっせ、みよ！」をたげていきます。



こぎま時代の夏、安心するあそび、共有するあそび、見つけよう!



ボクたちワタシたちは友達を求めよう!

友だちと一緒にが楽しい! 安心!